

ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>

《新・尼崎の本棚 117》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

芸術の秋

白髪一雄(1924-2008)は、尼崎西本町に生まれ、足で描く「フット・ペインティング」の技法により世界的に評価を得ました。美術学校では日本画を学び、その後洋画を習い、当時、阪神間の若手美術家たちが集まって発足した前衛美術グループ「具体美術協会」のメンバーの中心的人物として活躍しました。今年は、2013年11月の白髪一雄記念室オープンから10周年です。現在開催中の「白髪一雄記念室のあゆみ」では、尼崎ゆかりの市所蔵作品を中心に作品が展示されています。

記念室の近くには、旧小田公民館城北分館をリノベーションした尼崎のアート発信基地「A-LAB(えーらぼ)」があります。アートの発信基地として2015年秋開設され、子どもたちや若者をはじめとした市民が芸術を身近に体感できる場で、若手アーティストの発表・創作の場としても活用されています。

(参考:『地域史研究』第114号 尼崎市立地域研究資料館/編集・発行
『A-LAB』<http://www.ama-a-lab.com>)

文化を受け継ぐ

白髪一雄記念室のある尼崎市総合文化センターでは、美術展事業の他に、偶数月に桂米朝一門による落語勉強会が催されています。桂米朝は、戦後、上方落語の復興・発展に大きな足跡を残し、上方文化の称揚にも貢献しました。昭和47年に尼崎市民芸術賞を受賞しています。落語勉強会は昭和52年にはじまり、今に至っています。尼崎市総合文化センターでは、その他にも音楽、演劇、舞踊など、多岐にわたる事業を行い、市民文化の向上に寄与しています。

(参考:『尼崎総合文化センター』公式サイト <https://www.archaic.or.jp>
『尼崎市公式ホームページ』<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp>)

●「芸術・文化・アート」にふれる本●

『教養としての近現代美術史』 三田 晴夫/著 自由国民社

212196405

『落語と私』

桂 米朝/著 ポプラ社

310437408

『尼人』

松田 修/著 イースト・プレス

212315376

<図書館の休館日>

印の日はお休みです

11月

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | ③ | 4 |
| ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| ⑮ | 20 | 21 | 22 | ⑮ | 24 | 25 |
| ⑮ | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| ⑮ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| ⑮ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |



11月: November

ローマ暦の年のはじめ3月から9番目
(novemはラテン語で9)の月。

星座: 射手座

(11月23日~12月22日)

時候: 深秋、向寒、夜寒、冷雨

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

お知らせ

11月27日(月)～12月1日(金)まで、蔵書点検のため休館します。

ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

兵庫県立ピッコロ劇団員によるおはなし会

【日 時】12月16日(土) 午後3時～午後4時まで

【場 所】3階集会室

【対 象】3歳～小学生とその保護者

【定 員】先着70名

※大人(中学生以上)の方の申込は1グループにつき2名まで

【申 込】12月3日(日)から 1階カウンター、または電話にて受付

【演 目】『ブレーメンの音楽隊』ほか1作品

演技のプロによるおはなし会は迫力満点！

※事前の申し込みが必要ですのでご注意ください。



北図書館クイズラリー



【日 時】11月11日(土)～11月19日(日) ※休館日を除く

各日、午前9時～午後5時まで

【場 所】尼崎市立北図書館

【対 象】どなたでも

【定 員】なし

【申 込】不要

参加される方は上記開催日時に1階カウンタースタッフまで。

用紙とペンをもらって館内のクイズを解いてみよう！

『STORY(ストーリー)』

お兄ちゃんと図書館で待ち合わせをしていた小学生のあなた。しかし、お兄ちゃんの姿が見当たりません。探してみると館内のあちこちにヒントが…。

はたしてあなたはお兄ちゃんの足跡をたどって、ゴールまでたどり着くことができるのか？！



<11月展示のご案内>

一般大展示 「図書館員のおすすめ本」

2階展示 「漫画時代」

大人のための朗読会

【日 時】 11月15日(水) 午後2時から1時間ほど
【場 所】 3階 集会室
【内 容】 『雪屋のロッソさん』より「果物屋のたつ子さん」
いしい しんじ／著
『また次の春へ』より「トン汁」 重松 清／著
朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む べ***つ 小路幸也

〔しょうじゅきや〕1961年～北海道生まれ。『空を見上げる古い歌を口ずさむ』でメフィスト賞受賞。著書に『そこへ届くのは僕たちの声』『娘の結婚』『壁と孔雀』『明日は結婚式』『素晴らしき国』など多数。

『話虫干(はなしむしぼし)』

小路 幸也[著]／筑摩書房

馬場横町市立図書館には、いつからか蔵書の物語を改変する〈話虫〉が出没する。勝手に変えられた物語を元に戻す〈話虫干〉はこの図書館の大事な仕事である。新人の糸井警は上司と共に、夏目漱石の『こころ』の世界に入り、〈話虫〉たる人物を探す。はたしてその人物とは……。『ちくま』連載に加筆して書籍化。

『隠れの子』

小路 幸也[著]／集英社

北町奉行所定廻り同心・堀田州次郎と植木屋を営む神楽屋で暮らす少女・るう、二人はともに「隠れ」と呼ばれる特殊な力を持っている。州次郎は父・堀田惣一郎を殺した者を探すためにるうや他の人々の助けを借りて江戸を奔走する。「東京バンドワゴン」堀田家のルーツとなる時代小説。『小説すばる』連載を加筆修正。

『さくらの丘で』

小路 幸也[著]／祥伝社

〈さくらの丘〉に建つ西洋館、祖母が〈私たちの学校〉と呼んでいた建物は、孫の満ちるに遺された。遺言と共に残された鍵は何を意味するのか。祖母と青春を過ごした二人の親友、その孫にも同様に鍵が遺され、満ちる達は謎を解くため西洋館へ向かう。『Feel Love』連載より改題ほか加筆・訂正して単行本化。

『夏のジオラマ』

小路 幸也[作]・桑原 草太[絵]
／集英社

夏休み共同自由研究のために集まった、リョウ・マンタ・ミク・フミの4人。理科準備室にいたマンタが行方不明になり、皆で探していると、リョウはおかしな木の箱を発見する。上にガラスがはめ込まれ、中には模型みたいに小さな道路や川があつて……。ジオラマの謎をめぐる不思議な物語。【小学3～4年生】

広告制作会社退社後、ゲームシナリオ等の執筆活動に入る。北海道旭川出身、江別市在住。2003年『空を見上げる古い歌を口ずさむ』でデビュー。「東京バンドワゴン」シリーズ、「花咲小路」シリーズ、「駐在日記」シリーズなど多くのシリーズがあり、『東京バンドワゴン』はドラマにもなっている。

ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>

《新・尼崎の本棚 117》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

芸術の秋

白髪一雄(1924-2008)は、尼崎西本町に生まれ、足で描く「フット・ペインティング」の技法により世界的に評価を得ました。美術学校では日本画を学び、その後洋画を習い、当時、阪神間の若手美術家たちが集まって発足した前衛美術グループ「具体美術協会」のメンバーの中心的人物として活躍しました。今年、2013年11月の白髪一雄記念室オープンから10周年です。現在開催中の「白髪一雄記念室のあゆみ」では、尼崎ゆかりの市所蔵作品を中心に作品が展示されています。

記念室の近くには、旧小田公民館城北分館をリノベーションした尼崎のアート発信基地「A-LAB(えーらぼ)」があります。アートの発信基地として2015年秋開設され、子どもたちや若者をはじめとした市民が芸術を身近に体感できる場で、若手アーティストの発表・創作の場としても活用されています。

(参考:『地域史研究』第114号 尼崎市立地域研究資料館/編集・発行『A-LAB』<http://www.ama-a-lab.com>)

文化を受け継ぐ

白髪一雄記念室のある尼崎市総合文化センターでは、美術展事業の他に、偶数月に桂米朝一門による落語勉強会が催されています。桂米朝は、戦後、上方落語の復興・発展に大きな足跡を残し、上方文化の称揚にも貢献しました。昭和47年に尼崎市民芸術賞を受賞しています。落語勉強会は昭和52年にはじまり、今に至っています。尼崎市総合文化センターでは、その他にも音楽、演劇、舞踊など、多岐にわたる事業を行い、市民文化の向上に寄与しています。

(参考:『尼崎総合文化センター』公式サイト <https://www.archaic.or.jp>)
『尼崎市公式ホームページ』<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp>)

●「芸術・文化・アート」にふれる本●

| | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 『教養としての近現代美術史』 | 三田 晴夫/著 自由国民社 | 212196405 |
| 『落語と私』 | 桂 米朝/著 ポプラ社 | 310437408 |
| 『尼人』 | 松田 修/著 イースト・プレス | 212315376 |

<図書館の休館日>

印の日はお休みです

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | ③ | 4 |
| ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| ⑮ | 20 | 21 | 22 | ⑮ | 24 | 25 |
| ⑮ | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| ⑮ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| ⑮ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | 31 | | | | | |



11月: November

ローマ暦の年のはじめ3月から9番目(novemはラテン語で9)の月。

星座: 射手座

(11月23日~12月22日)

時候: 深秋、向寒、夜寒、冷雨

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)